

タイトル『青の数学』

著者： 王城 夕紀 出版社：新潮文庫

見た数字を覚えることの出来る少年栢山が
幼少期の数学の先生 柊(キフユ) との約束
「数学をずっとやり続ける」を守り、高校のときに
数学オリンピックに出る。その道で、オリンピックを
制した少女 京と出会う。「数学、何?」
京に問われ、栢山は数学をやり続ける理由
を探し始める。数学オリンピック一回戦
で敗けた栢山は、 E^2 という対戦式の
数学を知り、たくさんの人と出会い、
約束、問いにっって考えていく...

ひたむきな想いを身体に燃える熱を
数学へぶつける少年少女たちを描く
青春小説。

ぜひ読んでください!

投稿日 R.1年 10月 30日

ペンネーム(本名は書かないでね!)

R

年齢

14

仙台市

図書館 YAコーナ